

京都府バドミントン協会の沿革

20240828現在

年度	本会・加盟団体関係	大会・プレーヤー関係	関連機関関係
1902			英国よりバドミントン用具が日本へ入る
1924			北米YMCAより東京、横浜、神戸YMCAへバドミントン用具贈られる
1935			横浜YMCAでバドミントン流行
1938			神奈川県バドミントン協会創立
1939			神戸、大阪YMCAにてバドミントン講習会開かれる
1946	京都職域体育連盟主催にてバドミントン普及・指導講習会(講師佐藤勝郎)初めて開かれる		日本バドミントン協会創立
1948		第1回全日本選手権大会開催(東京都)	日本バドミントン協会が日本体育協会に加盟
1949	京都府バドミントン協会結成(5月)(京都YMCA、大谷大、川島織物の3団体約60名にて発足)〔初代会長佐藤勝郎(川島織物)、理事長坂田善也(YMCA)〕	第4回国民体育大会のオープン種目にバドミントン初参加(東京YMCA)	
1950	第5回国民体育大会に初参加	第5回国民体育大会に正式種目としてバドミントン競技採用 全日本学生選手権大会(個人戦)始まる 全国高校選手権大会始まる 五大都市体育大会始まる	

1951	<p>高体連バドミントン部結成される〔初代専門部長久野龍英(平安高)〕</p> <p>第2回全国高校選手権大会(於札幌市)に平安高校初参加</p> <p>第二代理事長に上原正士(京都ク)就任</p>	<p>全日本大学選手権大会(団体戦)始まる(全日本学生大会と併催にて)</p> <p>西日本選手権大会始まる</p> <p>関西学生リーグ始まる</p>	
1952		<p>全日本実業団選手権大会(2月)始まる</p> <p>近畿実業団大会始まる</p>	日本バドミントン協会が国際連盟に正式加盟
1953	<p>第三代理事長に泉本勇雄(川島織物)就任</p> <p>京都学生バドミントン連盟結成される〔初代会長上原正士、委員長広田晋(大谷大)〕</p> <p>高体連専門部長に山本博(朱雀高)就任</p>	第1回京都学生大会開かれる	
1954		<p>第4回全日本大学バドミントン選手権大会(団体戦)兼第5回全日本学生バドミントン選手権大会(個人戦)開催(10月30日～11月1日同志社大、柏野小、鴨沂高体育館)</p> <p>近畿高校選手権大会始まる</p>	日本始めてトマス杯大会に出場〔2回戦で香港に敗退 上田益弘(同志社大)が日本代表選手として出場〕
1955	<p>第四代理事長に上原正士(京都ク)再任</p> <p>京都府実業団バドミントン連盟結成される〔初代会長佐藤勝郎(川島織物)、理事長上田平雄(西京ク)〕(6月28日)</p>	第1回京都府社会人バドミントン選手権大会開催(S31年3月18日紫野高校)この大会は現在の社会人級別大会となる。	
1956	中体連バドミントン部結成される		対マライ(トマス杯保有国)親善試合が東京、横浜、大阪で開催される(京都から河内利雄、岡田未夫、福見陽が出場)

1957	<p>第二代会長に井上清一(参議院議員)が就任</p> <p>本協会規約成立</p> <p>京都学生連盟会長に永末英一(当時府会議員)が就任(5月)</p> <p>福知山バドミントン協会結成</p>	<p>第6回全日本学生東西対抗戦開催(12月22日東山高校)</p> <p>この時文部大臣杯授かる</p>	<p>日本協会第三代会長に本田弘敏就任</p>
1958	<p>京都学生連盟会長に永末英一(府会議員)が就任</p> <p>京都府実業団連盟初代会長に山川常七、第二代理事長に増尾忠雄(宝酒造)が就任</p>	<p>第9回五大都市大会にバドミントン種目が正式に採用された(7月同志社中学)</p> <p>京都市社会人総体にバドミントン競技が採用される</p>	<p>全日本社会人選手権大会始まる</p> <p>第3回アジア大会(東京)で日本男子優勝</p>
1959	<p>京都府実業団連盟第三代理事長に中沢誠治(川島織物)が就任</p>	<p>日本・マライ・タイ親善試合京都大会開催(4月24日立命大体育館)</p>	
1960	<p>佐藤勝郎初代会長が日本協会より功労賞受賞</p> <p>朱雀高校体育館落成</p>	<p>京都府社会人個人大会が社会人級別個人大会となる</p>	
1961	<p>小西陽子、高木和子(以上桂中学)が 京都新聞社ジュニアスポーツ賞受賞</p> <p>京都府実業団連盟第二代会長に佐藤勝郎、第四代理事長に北中勇(貯金局)が就任</p>	<p>第14回全日本総合バドミントン選手権大会開催(S37年3月27日～30日京都学芸大)</p>	
1962	<p>舞鶴バドミントン協会結成</p>	<p>全インド対西日本女子親善大会開催(10月10日京都橘女子学園)</p>	<p>全日本教職員大会始まる</p> <p>小宮好男(トヨタ自)が日本人として初めて全英大会に出場(単ベスト8)</p>
1963	<p>京都市体育館落成</p> <p>京都府実業団連盟第五代理事長に矢田直宏(松下電子)が就任</p>		<p>全日実大会にて併催していた全日本社会人大会独立開催となる(第13回全日実大会より実連の団体戦と個人戦となる)</p>

1964	京都府実業団連盟第六代理事長に北中勇(貯金局)が再任	第15回全国高校バドミントン選手権大会開催(8月6～10日於京都市体育館) 対米国親善試合京都大会開催(8月22日於平安女学院体育館)	東京オリンピック開催 第6回ト杯大会アメリカンゾーンで日本代表権獲得
1965			
1966	第三代会長に永末英一(衆議院議員)が就任		世界女子選手権(ユ杯)大会で日本発優勝
1967	京都府実業団連盟第七代理事長に野村嘉明(島津)が就任	第1回京都府総合バドミントン団体選手権大会開催(S43年1月17日京都市体育館)	近畿教職員選手権大会始まる
1968			
1969	京都府実業団連盟第三代会長に榊田喜四夫(京信)が就任	世界男子選手権(ト杯)アジアゾーン予選会準決勝開催(S45年2月25日～26日京都市立体育館)	湯木博恵 全英大会女子単で日本人として初優勝 世界女子選手権(ユ杯)大会で日本連続優勝 日本協会「バドミントン界」発刊 近畿総合個人選手権大会始まる
1970	第五代理事長に市村修(立命大OB)が就任 陣内(現飯野)裕子、岡崎(現矢野)幸子(以上成安女子高校)が京都新聞ジュニアスポーツ賞受賞		
1971	京都府社会人バドミントン連盟結成本協会に加盟(会長なし、初代理事長入江吉信)(4月) 京都府社会人バドミントン連盟第二代理事長に小島伸治が就任 京都府立体育館落成(10月) 宇治市バドミントン協会結成		

1972	<p>第六代理事長に野村嘉明(島津)が就任</p> <p>スポーツ指導員養成制度発足</p> <p>京都府教職員バドミントン連盟結成〔代表者 飴田純一(同志社中)〕</p> <p>京都学生バドミントン連盟会長に床尾かおる(当時府会議員)が就任</p>		
1973	<p>舞鶴バドミントン協会本会に加盟</p> <p>亀岡市バドミントン協会結成</p>		第1回日中バドミントン競技大会開かれる(東京他8会場)
1974	<p>京都府社会人連盟内に婦人専門部設置(部長に小沢公子が就任)</p> <p>京都教職員バドミントン連盟結成〔初代理事長に山本博(朱雀高)が就任〕</p> <p>京都府実業団バドミントン連盟第四代会長に榊田喜四夫(京信)が就任</p> <p>京都府社会人バドミントン連盟初代会長に上原正士、第三代理事長に市村修(立命大OB)が就任</p>	第1回京都オープン家庭婦人バドミントン大会開催(8月18日京都府立体育館)	
1975	<p>亀岡市バドミントン協会が本会に加盟</p>	第4回日中バドミントン京都大会開催(11月16日京都市体育館)	
1976	<p>福知山バドミントン協会が本会に加盟</p> <p>京都府実業団連盟会長代行に永末英一が就任</p>	<p>京都府民体育大会参加で京都府総合バドミントン個人選手権大会を開催(12月島津製作所、京都府立体育館第2)</p> <p>府総合個人大会複の部に市町村推薦選手を加え開催(従来は加盟連盟の推薦選手のための参加であった)</p>	

1977	<p>京都府家庭婦人バドミントン連盟結成〔会長代行永末英一(協会と兼務)初代理事長 岡崎ヒサミが就任〕 京都府社会人バドミントン連盟婦人専門部から独立</p> <p>上原正士副会長が日本バドミントン協会監事に、野村嘉明理事長が同協会理事に就任</p>	<p>第27回全日本実業団バドミントン選手権大会開催(6月京都府立体育館・京都市体育館)個人戦の部を京都が主管、団体戦の部は大阪府が主管</p> <p>京都府民総合大会参加の第2回府民バドミントン大会は市区町村対抗と改定し開催</p> <p>第7回国際バドミントン競技京都大会開催 (S53年1月16日京都府立体育館)</p>	
1978	<p>第1回京都府民総合体育大会バドミントン競技会開催(9月15日京都市体育館)大会名が改定され、地域大会・中央大会の形式で開催されることになった</p> <p>京都府実業団バドミントン連盟第五代会長に西村清次(当時京都市中信用理事長)が就任</p>	<p>本会創立30周年記念バドミントンカーニバル及び祝賀会開催(S54年3月25日京都市体育館他)</p> <p>カーニバルは 第1部少年バドミントン教室 第3部模範試合 第4部府民バドミントン親善試合を実施</p>	<p>世界女子選手権(ユ杯)大会で日本優勝</p> <p>近畿家庭婦人大会始まる</p>
1979	<p>青山寿美(成安女高)が京都新聞ジュニア・スポーツ賞受賞(全国高校総体女子単3位)</p> <p>京都府家庭婦人バドミントン連盟初代会長に井上愛子が就任</p>	<p>第30回全日本学生バドミントン選手権大会開催(10月22～27日京都市体育館)</p> <p>第1回バドミントン日本リーグ京都大会開催(12月15日京都府立体育館)</p> <p>第2回バドミントンワールドカップ'80大会開催(S55年1月18日～19日京都府立体育館)</p> <p>ワールドカップ大会は次の大会からヨネックスカップ・ジャパンオープンバドミントン大会に改名</p>	バドミントン日本リーグ始まる

1980	長岡京市バドミントン協会結成本協会に加盟(6月) 城陽市バドミントン協会結成	第2回バドミントン日本リーグ京都大会開催(12月21日京都府立体育館) 日中友好ジュニア代表団交歓会開催(S56年3月18日京都家政学園高校体育館)	
1981	洛星中学・梅津中学チームが京都新聞ジュニアスポーツ賞受賞 京都府家庭婦人バドミントン連盟第二代理事長に森比佐が就任	世界女子選手権(ユ杯)大会準決勝開催(5月23、24日京都府立体育館) 第1回京都府小学生バドミントン大会開催(8月29日京都府立体育館) 第3回バドミントン日本リーグ京都大会開催(11月22日京都府立体育館)	日本バドミントン協会会長に櫻内義雄(当時外務大臣)が就任 第9回世界女子選手権(ユ杯)大会で日本優勝(5回目)
1982	第43回国体(京都)のバドミントン競技会場が長岡京市に内定(10月19日)		第1回全日本ジュニアバドミントン選手権大会開催(12月東京都) 日本バドミントン協会の法人化が認可され(財)日本バドミントン協会となる 全日実大会は個人戦を廃止し団体戦のみとなる(第13回東京大会)
1983	三角典生(洛星中)が京都新聞ジュニアスポーツ賞受賞 京都府家庭婦人バドミントン連盟第二代会長に濱崎正規(当時立命大教授)が就任	第5回バドミントン日本リーグ京都大会開催(11月27日京都府立体育館)	日本家庭婦人バドミントン連盟設立第1回全日本家庭婦人選手権大会(都道府県対抗 8月東京都)
1984	京都市バドミントン協会結成本会に加盟(4月) 京都府高体連バドミントン部長に斎藤進が就任	第10回日中バドミントン競技京都大会開催(10月1日京都府立体育館)	第1回全日本シニアバドミントン選手権大会開催(10月上尾市)

1985	<p>第七代理事長に山本博(朱雀高教)が就任</p> <p>上原正士副会長が京都府スポーツ賞(功労賞)を受賞</p> <p>向日市バドミントン協会結成</p> <p>京都府家庭婦人バドミントン連盟第三代会長に田中田鶴子(大和学園理事長)が就任</p>	<p>第1回ジュニアジャパンカップバドミントン大会開催(8月27日、28日京都府立体育館、京都市立武道センター)</p> <p>長岡京市教委、長岡京市体協、京都府バドミントン協会の共催で開催(第2回大会より大会名が若葉カップ小学生バドミントン大会に改名)</p>	
1986	<p>京都府学生バドミントン連盟会長に水原亮(京都産大教授)が就任</p>	<p>第36回全日本実業団バドミントン選手権大会開催(6月13日～17日京都府立体育館、京都市体育館)</p>	
1987	<p>第八代理事長に佐藤武人(立石電機)が就任</p> <p>山本裕幸・村尾勉組が京都府スポーツ賞(優秀選手賞)受賞 第26回全日本教職員選手権大会一般男子複で優勝したことによる</p> <p>宇治市バドミントン協会が本会に加盟</p> <p>京都府実業団バドミントン連盟第八代理事長に佐藤武人(立石電機)が就任</p> <p>長岡京市西山公園体育館落成(5月)</p> <p>京都府高体連バドミントン部第三代委員長に成田光生が就任</p> <p>京都府高体連バドミントン部長に坪内達雄が就任</p> <p>京都府家庭婦人バドミントン連盟第三代理事長に清水泰子が就任</p>	<p>第12回日中バドミントン競技京都大会開催(6月24日京都府立体育館)</p> <p>第5回全国家庭婦人バドミントン大会開催(7月23日～24日西山公園体育館、向日市民体育館)</p> <p>第30回全日本社会人バドミントン選手権大会兼第43回国体バドミントン競技リハーサル大会開催(9月20日～23日西山公園体育館他)</p> <p>京都国体開催記念全国高校選抜バドミントン選手権大会優秀校招待試合開催(S63年3月27日、28日西山公園体育館)</p>	

1988	<p>野村嘉明前理事長が(財)日本バドミントン協会特別功労賞受賞(京都国体開会式にて)</p> <p>女子教職員チーム、山本裕幸・村尾勉組、白川由理・北川恵美子組が京都府スポーツ賞(優秀選手賞)受賞</p> <p>第27回全日本教職員選手権大会で女子団体、一般男子複、一般女子複優勝による</p>	<p>第3回日中ジュニア交流バドミントン競技京都大会開催(5月10日西山公園体育館)</p> <p>第43回国民体育大会バドミントン競技会開催(10月15日～20日西山公園体育館)</p> <p>成年男子2位、成年女子5位、少年男子5位、少年女子5位入賞 男女総合2位、女子総合6位</p> <p>第32回全日本総合選手権大会男子複で山本裕幸・村尾勉組が3位となる</p> <p>第1回未来くんバドミントン大会開催(H元年2月11、12日京都市体育館) 京都国体開催を記念して実施となる</p>	
1989	<p>京都府ジュニアバドミントン連盟結成</p> <p>府民総合体育大会が国体形式の市町村対抗に改定され実施されることになった</p> <p>向日市バドミントン協会が本会に加盟</p> <p>男子教職員チーム、杉本吉男、山本裕幸・村尾勉組が京都府スポーツ賞(優秀選手賞)受賞 第28回全日本教職員選手権大会で男子団体一般男子単・複優勝による</p>	<p>第8回全日本ジュニア交流バドミントン選手権大会開催(11月10～12日西山公園体育館)</p>	
1990	<p>京都府ジュニアバドミントン連盟が本会に加盟(会長濱崎正規、理事長大前茂)</p> <p>女子教職員チームが京都府スポーツ賞(優秀選手賞)受賞 第29回全日本教職員選手権大会で女子団体優勝による</p>	<p>第7回全日本シニアバドミントン選手権大会開催(11月京都市立体育館、西山公園体育館)</p>	

1991	<p>上原正士副会長が日本協会本田賞受賞</p> <p>京都府高体連バドミントン部長に小林暉彦が就任</p> <p>京都府社会人バドミントン連盟第四代理事長に河村広次が就任</p>	<p>第13回バドミントン日本リーグ2部大会開催(11月8～9日西山公園体育館)</p>	
1992		<p>第14回バドミントン日本リーグ長岡京大会開催(11月23日西山公園体育館)</p>	
1993	<p>第四代会長に西村清次(当時京都中信会長)が就任</p> <p>城陽市バドミントン協会が本会に加盟</p> <p>京都府社会人バドミントン連盟第二代会長に市村修が就任</p>		
1994	<p>元会長永末英一が逝去(7月10日)</p>		
1995	<p>第五代会長に田中田鶴子(大和学園理事長)が就任</p> <p>元副会長上原正士が心不全のため逝去(12月8日)</p> <p>川本末夫副会長がミズノ・スポーツメントール賞受賞</p>	<p>第30回全国高等専門学校バドミントン選手権大会開催(8月6日～7日舞鶴市文化公園体育館)</p> <p>第46回全日本学生バドミントン選手権大会開催(10月26日～11月1日京都府立体育館、京都市体育館、太陽が丘体育館、城陽市民体育館)</p> <p>第17回バドミントン日本リーグ長岡京大会開催(11月23日西山公園体育館)</p>	
1996	<p>京都府高体連バドミントン部長に土山善英が就任</p> <p>インターネットホームページ開設</p>	<p>第25回全国高校選抜バドミントン選手権大会開催(平成9年3月25～28日西山公園、向日市民、大山崎町体育館)</p>	

1997	<p>京都府バドミントン協会事務局を京都府スポーツセンター〔京都府民総合交流プラザ(京都テルサ)東館3階スポーツ団体事務室内〕に開設</p> <p>京都府高体連バドミントン部長に田中理房が就任</p> <p>京都府実業団バドミントン連盟第五代会長に野村嘉明が就任</p> <p>京都府高体連バドミントン部第四代委員長に高橋清治が就任</p>	<p>第48回全国高等学校バドミントン選手権大会開催(8月1～6日長岡京市西山公園体育館他)</p>	<p>小島博幸・齊藤篤司がアジアバドミントン連盟認定国際審判員(ABC-A) 資格取得</p>
1998	<p>事務局に専属事務局員を配置</p>		
1999	<p>京都府バドミントン協会創設50周年記念式典・祝賀会開催(平成12年3月25日リーガロイヤルホテル)</p> <p>京都府実業団バドミントン連盟第六代会長に岡本宏也が就任</p> <p>第九代理事長に小島博幸(桂高校教)が就任</p> <p>京都府高体連バドミントン部長に井上清が就任</p> <p>京都府社会人バドミントン連盟第五代理事長に小国俊之が就任</p> <p>京都府家庭婦人バドミントン連盟第四代理事長に小国久美が就任</p> <p>佐藤武人(第八代理事長)日本バドミントン協会理事に就任</p>	<p>第49回全日本実業団バドミントン選手権大会開催(6月11日～14日西山公園、太陽が丘体育館、京都市体育館)</p> <p>ゴ-センカップ第4回アジアジュニアバドミントン選手権大会開催を決定(7月) 会場:長岡京市西山公園体育館 期日:平成12年7月21日～27日</p>	
2000	<p>京都府バドミントン協会表彰規定制定</p> <p>家庭婦人連盟がレディース連盟に改称</p>	<p>第4回アジアジュニアバドミントン選手権大会開催(7月21～27日西山公園体育館)</p>	<p>小島博幸・齊藤篤司がアジアバドミントン連盟公認国際審判員(ABC-C) 資格取得</p>

2001	<p>京都府レディ-スバドミントン連盟 設立25周年記念式典(11月10日)</p> <p>京都府社会人バドミントン連盟第 六代理事長に高木謙一が就任</p> <p>宇治市バドミントン協会創立30周 年記念式典(平成14年2月2日)</p>		
2002	<p>元副会長小林暉彦が逝去(平成15年 3月)</p>		
2003	<p>田中田鶴子会長「地方教育行政功労 者表彰」受彰</p>		
2004	<p>田中田鶴子会長「旭日双光章」を受 章</p>	<p>第20回若葉カップ全国小学生バド ミントン大会開催(8月6～9日西山 公園体育館)</p> <p><この年度より(財)日本バドミン トン協会第1種年次大会となる></p>	
2005	<p>久御山町バドミントン協会が本会 に加盟</p> <p>田中田鶴子会長(財)日本バドミン トン協会功労賞を受賞</p> <p>城陽市バドミントン協会創設25周 年記念式典(11月23日)</p> <p>福知山バドミントン協会設立50周 年記念式典(12月17日)</p>	<p>第21回若葉カップ全国小学生バド ミントン大会開催(8月5～8日西山 公園体育館)</p>	

2006	京田辺市バドミントン協会が本会に加盟	<p>第22回若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催(8月4～7日西山公園体育館)</p> <p>第41回全国高等専門学校バドミントン選手権大会開催(8月5～6日舞鶴文化公園体育館)</p> <p>第45回全日本教職員バドミントン選手権大会開催(8月8～12日西山公園体育館 京都府立体育館)</p> <p>第57回全日本学生バドミントン選手権大会開催(10月27日～11月2日京都市体育館、太陽が丘体育館)</p>	
2007		<p>第23回若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催(8月3～6日西山公園体育館)</p> <p>第8回全国社会人クラブ交流大会を開催(平成20年3月8～9日太陽が丘体育館、城陽市民体育館)</p>	
2008	第十代理事長に吉田清隆が就任	<p>第24回若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催(8月1日～4日西山公園体育館)</p> <p>第3回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)開催(12月5日～7日向日市民体育館、京都市体育館、大山崎町体育館)</p>	

2009	<p>第十一代理事長に高木謙一が就任 長岡京市バドミントン協会が創立30周年記念式典開催(11月1日)</p>	<p>第25回若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催(7月31日～8月3日西山公園体育館)</p> <p>国体近畿ブロック大会で成年男子優勝と4種別共本国体出場を果たす</p> <p>第64回トキメキ新潟国体にて成年男子が5位入賞を果たす</p> <p>2009年若葉カップ25周年記念日本リーグの開催(11月3日西山公園体育館)</p> <p>第10回全日本中学生バドミントン選手権大会開催(予)(平成22年3月26日～28日太陽ヶ丘体育館、城陽市民体育館)</p>	<p>齊藤篤司が世界バドミントン連盟認定国際審判員 (BWF-A) 資格取得</p> <p>小島博幸がアジアバドミントン連盟認定国際レフェリー (BA-A) 資格取得</p>
2010	<p>近畿レディース連盟が創立30周年記念式典開催(5月29日)</p> <p>向日市バドミントン協会が創立25周年記念式典開催(8月22日)</p>	<p>第26回若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催(7月30日～8月2日西山公園体育館)</p> <p>国体近畿ブロック大会を京都で開催(8月22日～23日西山公園体育館)</p> <p>第65回千葉国体にて成年男子2年連続5位入賞を果たすと共に、京都府が総合成績7位入賞</p> <p>第2回全日本トリプル大会を開催(平成23年1月8日～9日向日市民体育館)</p>	

2011	<p>「京の子どもダイヤモンドプロジェクト」の第1期生の募集開始(10月14日～)</p> <p>京都府協会のホームページを開設(2月1日)：http://kyoto-badminton.com</p>	<p>第27回若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催(7月29日～8月1日西山公園体育館)長岡スポ小女子が3位入賞</p> <p>近畿総合(シニアの部)を京都で開催(1月28日・29日向日市民体育館)</p> <p>クイーンズサーキット2012「京都大会」を龍谷大学体育館で開催(2月24日～26日)</p>	<p>(財)日本バドミントン協会が公益財団法人として認可される(4月1日)</p>
2012		<p>第28回若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催(7月27日～30日西山公園体育館)長岡スポ小女子が昨年に引き続き3位入賞</p> <p>第67回「ぎふ清流」国体にて京都府が総合成績8位入賞を果たす</p>	<p>西川浩・木村藤子が世界バドミントン連盟(BWF)の国際線審に任命される</p>
2013	<p>第十二代理事長に小国久美氏が就任</p> <p>近畿バドミントン協会会長に当協会会長の田中田鶴子氏が就任</p> <p>社会人クラブ連盟第三代会長に入江吉信氏が就任</p>	<p>第29回若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催(8月2日～5日西山公園体育館)長岡京市スポ小男子が5位入賞</p> <p>第68回国体「スポーツ祭東京2013」にて成年男子が2年ぶり5位入賞を果たす</p> <p>「ヨネックスドリームマッチ2013 京都」を府立体育館で開催。日本のトップ5名による模範試合等を実施</p> <p>タウフィック ヒダヤット氏による講習会を府立乙訓高校体育館で開催</p> <p>小椋久美子氏による「バドミントクリニック」を府立太陽ヶ丘公園体育館で開催</p>	<p>小島博幸がアジアバドミントン連盟公認国際レフェリー(BA-C)資格取得</p> <p>河原吉伸がアジアバドミントン連盟認定国際審判員(BA-A)資格取得</p>

2014	田中田鶴子会長が「男女共同参画社会づくり」功労者内閣総理大臣表彰を受賞	<p>第30回若葉カップ全国小学生バドミントン記念大会開催(8月1日～4日西山公園体育館)・30回記念大会として、日本リーグ選手との交流会やレセプションを開催する</p> <p>第63回近畿総合バドミントン選手権(一般の部)を京都で開催(太陽ヶ丘体)</p>	トマス杯で日本が初優勝、ユーパー杯は準優勝する
2015	顧問の川本末男が逝去(平成27年11月)	<p>第67回全日本実業団選手権大会を京都で開催(7月1日～5日島津アリーナ京都他)</p> <p>第31回若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催(7月31日～8月3日西山公園体育館)</p> <p>第66回全国高等学校バドミントン選手権大会を開催(8月6日～11日:西山公園体・太陽ヶ丘体他)</p> <p>国体近畿ブロック大会で成年男子優勝と4種別本国体出場を果たす</p> <p>第49回全国ろうあ者体育大会バドミントン競技を開催(9月19日～20日西山公園体育館)</p> <p>第70回国体「2015紀の国わかやま大会」にて成年男子が2年ぶり5位入賞を果たす</p> <p>三菱自動車京都が日本リーグ1部に昇格する</p>	全英オープン大会にて、女子単で奥原希望選手、女子複で松友・高橋選手が優勝を果たす

2016	<p>府レディース連盟が創立40周年記念式典を開催（11月20日）</p> <p>「ワールドマスターズゲームズ2021関西」のバドミントン競技が京都市で開催されることになり、本会が主管団体として京都市実行委員会に参加</p>	<p>第32回若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催(7月29日～8月1日西山公園体)・長岡スポ小男子が準優勝をする</p> <p>第71回国体近畿近畿ブロック予選会を京都で開催（太陽ヶ丘体）</p> <p>第39回近畿社会人クラブ連盟個人選手権大会を京都で開催（太陽ヶ丘体）</p> <p>ジュニアバドミントン講習会を廣瀬栄理子選手を講師として開催（3月4日：城陽市民体）</p>	<p>リオオリンピックにて女子複で松友・高橋選手が金メダル、女子単で奥原希望選手が銅メダルを獲得</p> <p>西川浩が国際線審として参加。</p>
2017	<p>副会長の小島博幸が逝去（平成29年4月）</p> <p>小国久美（第十二代理事長）が日本バドミントン協会の理事に就任する</p> <p>平成29年度京都府スポーツ賞功労賞を高木謙一副会長が受賞する</p>	<p>第33回若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催(7月28日～31日西山公園体)・長岡スポ小男子が準優勝をする</p> <p>ジュニアバドミントン講習会を森かおり選手を講師として開催（11月3日：口丹波福祉会館）</p> <p>S/J リーグ2017京都大会を開催（1月21日：島津アリーナ京都）・男子：三菱自京都：金沢学院クラブ・女子：日本ユニシス：ヨネックス</p> <p>第15回近畿総合個人選手権大会（シニアの部）を京都で開催（1/27・2/3：ハンナリーズアリーナ）</p>	

2018	ジュニア指導を頂いた龍谷大平安高校の竹中育枝が逝去	<p>第36回全日本レディース選手権大会開催(7月19日～22日島津アリーナ他)</p> <p>第34回若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催(7月27日～30日西山公園体)</p> <p>第69回全日本学生選手権大会を開催(10月12日～18日：ハンナリーズアリーナ他)</p> <p>S/J リーグ2018京都大会を開催(12月22日：島津アリーナ京都)</p>	宮崎千晶がアジアバドミントン連盟認定国際審判員 (BA-A) 資格取得
2019		<p>第35回若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催(7月20日～23日西山公園体)</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大のため、級別大会(3/7,8,15)中止</p>	
2020	「ワールドマスターズゲームズ2021関西」は東京2020の延期を受け、2022への延期を決定 リハーサル大会と位置付けた「ミズノおもてなしカップジャパン」は中止	新型コロナウイルス感染症拡大のため、本会主催大会は級別大会(3/6,7,14)を除きすべて中止	日本協会主催大会は、軒並み中止 東京2020も一年の延期
2021	「ワールドマスターズゲームズ2021関西」は、2027への再延期を決定	<p>新型コロナウイルス感染症拡大のため、本会主催大会のうち、国体予選・総合個人・全日本ジュニア予選・総合団体のみ実施</p> <p>第37回若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催(7月17日～19日西山公園体)</p>	東京オリンピック・パラリンピックが1年遅れ、無観客で開催される。 オリンピックには西川浩が、パラリンピックには太田智一郎と宮本眞代が線審で参加。

2022	寺田裕昭総務委員長が逝去	<p>第38回若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催(7月29日～8月1日西山公園体)</p> <p>国体近畿ブロック大会開催(8月20日・21日西山公園体)</p> <p>S/J リーグ2022京都大会を開催(1月29日：島津アリーナ京都)</p> <p>全日本社会人クラブ対抗選手権大会開催(2月18日・19日向日市民体、城陽市民体)</p>	日本協会会長・専務理事の辞任
2023	小国久美理事長が日本協会の監事に就任	<p>第39回若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催(7月28日～31日西山公園体)</p> <p>全日本社会人大会開催(9月2日～6日京都市体、島津アリーナ京都、向日市民体)</p> <p>S/J リーグ2023京都大会開催(1月28日：島津アリーナ京都)</p> <p>近畿総合シニアの部開催(2月23日・24日京都市体)</p>	日本協会の組織改変

<編纂・文責> (役職名は編纂時)

野村嘉明(顧問) 小島博幸(副会長) 高木謙一(副会長) 齊藤篤司(広報委員長)